

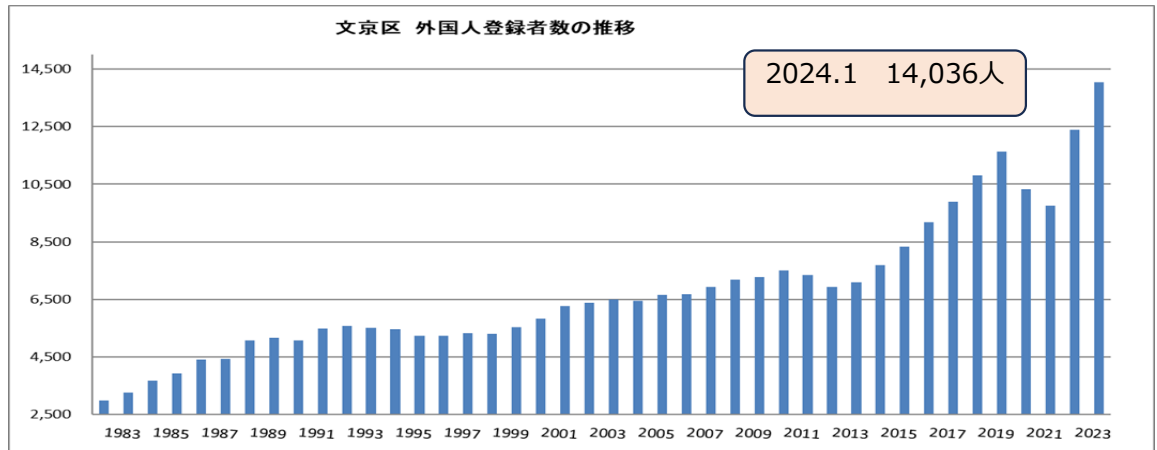
Bチャレ 新たなつながり部門 実績報告書

団体名	ぶんきょう多文化ねっと	作成日	2026年 3月10日
事業名	多文化コミュニティプロジェクト「にほんご交流inぶんきょう」		
協働団体名 及び役割 <small>(適宜枠を増減して記載してください)</small>	団体名	役割	
	ぶんきょう多文化ねっと	総合企画・コーディネート	
	文京区アカデミー推進課	区内関連部署・地域組織（町会等）との連携ハブ機能、住民への広報・事業周知、外国人住民への呼びかけ広報、場所の確保提供、事業実施のサポート	
	文京区社会福祉協議会	事業展開のアドバイス、協働が考えられる機関、人材の紹介・区内大学や区内企業とのつなぎ・連携ハブ機能	
	ボランティア日本語教室	交流事業の企画実施協力、外国人への広報、ボランティア体験希望者の受け入れ	
	外国人関連機関（アジア学生文化協会等）	事業実施の協力、外国人への広報	
	区内伝統工芸・日本文化等の専門家個人・団体 町会等	*日本文化等の専門家個人・団体：日本文化体験交流会への協力、交流事業の実施協力、住民参加へのつなぎ役（既存連携先との強化+新規連携先を開拓予定） *町会・地縁組織等：交流事業実施,外国人支援ボランティア参加人材の呼びかけを模索	
	東京大学グローバル教育セ	留学生交流のサポート、事業の広報協力	
	区内企業（既存連携企業+新規ネットワーク）	B-NICE（企業ボランティアと在在学外国人との交流事業）の協働実施	
	区内大学(大学生・関連部	外国人交流事業に関心のある学生への広報等協力	

<p>提案背景・目的 エントリーシートと同様で可</p>	<p>■背景と現状：</p> <p>2026年1月1日現在、文京区の外国人人口は17,094人(対総人口比 7.21% 2025年1月より1,171人増加)、過去10年間で2倍に急増している。彼らの在留目的は就労、留学、家族滞在等多岐にわたり、どのカテゴリーでも増加し、区内の教育機関や保育施設でも日本人住民との共住が急ピッチで進んでいる。</p> <p>コロナ禍では、社会福祉協議会に生活支援を求める在住外国人からの問い合わせも複数あり、比較的恵まれていると言われてきた文京区でも多様な層の外国人が在住する状況も見えた。日本での生活を営む上で、在住在学在勤の外国人のニーズは、年齢や在留状況、期間、経済状況により異なる。近年の特徴は定住性が高まり、日本での長期的就労や家族形成の意向が強いことである。そのため、彼ら彼女らからは日本人住民との接点、日常的な関係性の構築のきっかけを求める声が多い。同時に生活言語としての日本語を習得したいという希望が、行政や日本語ボランティア教室に多く寄せられている。</p> <p>これまで文京区内では、日本語交流支援は区内で自発的に活動する日本語ボランティア教室が受け入れ先となっていた。しかし、担い手の高齢化や就労層の共働き傾向の進行等により、交流支援活動の担い手が不足し、次世代の人材発掘・育成が大きな課題となっている。この傾向はコロナ禍を経て急速に深刻となっている。外国人から「日本語を学びたい。生活のための日本語が必需だ」という要望が行政窓口や各ボランティア教室へ恒常的に寄せられているが、区内ではそのニーズに対応できていない状況が続いている。</p> <p>一方で日本人住民側からは、外国人の増加を感じながらも、同じ地域に住む外国人の状況やニーズなどについて知る機会が少なく、関わるきっかけが持ちにくいという意見がある。実際、2024年度の参加者からは「関心は前からあった。自分にできる事を知りたい」「日本語ボランティア活動に参加したい」等の声があった。また、区内の外国人急増により地域でのトラブルを懸念する声も聞こえ、その課題解決や深刻化しないためのアイデアを知りたいという問合せも寄せられた。</p> <p>■本事業の目的：</p> <p>上記の背景と現状から、本事業では、在住在学の外国人との交流、日本語を話す機会を持つことにより、お互いの理解を促進し、多文化地域社会を作っていくことを目指す。地域の活動として、単発でなく継続的な交流・支援の環境整備が必需である。日本語交流の機会や、研修を行うことにより、外国人への直接的な交流、日本語交流支援になると同時に、①身近に住む者同士として交流支援に携わる人材の掘り起こし・育成 ②町会等地縁団体、教育機関など地域コミュニティでの相互理解をすすめるような交流の機会づくり をしていきたい。</p>
---	--

参考データ

1. 文京区外国人登録者数(各年 1月1日) 出典:文京区データより筆



2014年から2024年の10年間で、6949人増加、1.98倍
 2004年から2024年の20年間で、7530人増加、2.15倍

2. 文京区内 ぶんきょう多文化ねっと 登録のボランティア日本語教室数
2021年度末 7教室 ⇒ 2025年度末 5教室 (うち対面 3教室)

A. 在住在学外国人との日本語交流・連携

日本語で交流することにより 常に下記を意識して事業を実施した。

- まず知り合い、異なる国籍であっても同じ地域で一緒に暮らしていくことへの抵抗感を軽減し、相互理解を進める。

- 日本語を話す機会を増やし、日本での生活をより良くするためのサポートをする。

1. 日本文化を知る&日本語交流会 (2回)

① 日本文化を知る&日本語交流会 (江戸木版画・うちわ作り)

文京区内で伝承される伝統文化を紹介、体験した。外国人と日本人と一緒に体験をしながら日本語で交流することを通じて相互理解を促した。

実施日: 2025年7月13日(日) 講師: 高橋由貴子氏(江戸木版画 高橋工房)

参加者 41人 (外国人27人 日本人11人)

② 日本文化を知る&日本語交流会 (和太鼓体験・盆踊り交流)

文京区の日本文化を知る機会第2弾として、区内和太鼓伝承の会、「助六太鼓」の講師の和太鼓パフォーマンスと体験。

引き続き盆踊り交流を実施。

実施日: 2026年1月26日(月) 指導: 助六太鼓のみなさん

参加者 55人 (外国人22人 日本人20人 演者・子供たち 13人)

2. 年末交流会—日本語交流(Year End Party)

日本の伝統行事を楽しみながら、外国人と日本人が交流した。本事業は、既存の日本語ボランティア教室参加者、交流を希望する外国人、今年度に展開する他の事業 (A-3,B-2など) の参加者などが広く交流できる会とした。ぶんたねっとの各日本語ボランティア教室が中心となり企画。それぞれの教室や文化紹介ボランティア有志が日本文化紹介のブースを設け、外国人の方々と一緒にたのしみ、日本語で交流した。家族ぐるみの参加や、区内企業ボランティア、今年度のB事業のセミナー受講者からの参加もあり、地域ならではの大会となった。

実施日: 2025年12月16日(土) 15:00-17:00

参加者: 97人 (外国人47人 日本人50人) 日本語ボランティア教室参加者、企業人ボランティア、その他一般申込者等

事業実施概要

事業実施の準備も含めていつ、だれが、どこで、何をを行ったのかを具体的に記載してください

事業実施概要	<p><u>3.B-NICEプログラム 企業社会人&留学生交流会（区内企業と連携 共催：東大留学生支援室）</u> 地域社会貢献を考える区内企業との連携プログラム。継続的に関わるプログラムの機会として2024年度好評だった本企画を継続。日本で働きたい留学生は、日本人社会人との交流、話を聞きたいニーズが高い。企業ボランティアと留学生との1対1 日本語交流プログラム。双方の参加希望者を受け、顔合わせを実施、その後は個々の交流が展開された。（身近な観光スポット訪問、季節行事(正月等)の紹介、家族含めての食事、就職活動の相談、留学生の母国紹介の談話など）交流期間の後半（11/16）「日本語交流・話す・聞く・知る」事業に合わせ参加者が交流報告。趣味のパフォーマンスの披露もあり、更に交流を深めた。幅広い年代の交流と日本社会の理解の機会となり、気軽にできる「日本語での交流」を体験することで、外国人に関わるボランティアに対するハードルが下がったという声があった。留学生交流を入口に、外国人企業社会人としての外国人支援に関心のある人材を掘り起こすことにも役だった。</p> <p>定員：企業人ボランティア&留学生各15人 実際の成立組： 13組（留学生申込29人 16人組み合わせ成立せず）</p> <p>スケジュール：5月募集開始 5/27顔合わせ会 別途個別顔合わせを実施 6月～2月 個別交流報告会&全体交流会 11/16</p> <p><u>4.日本語交流 話す・聞く・知る（外国人からの発信・パフォーマンス）</u> 日本語教室参加の外国人スピーカーが、日本生活体験や、母国紹介などのスピーチ。スペシャルゲストとして、東大インドネシア留学生在がアングルのパフォーマンスと体験を披露。その後グループで日本人参加者と日本語で交流。日本人参加者にとって、交流を楽しむ機会であると同時に、更に日本語交流に興味関心のある方には、継続的な機会へと誘うきっかけとなった。</p> <p>実施日：2025年11月16日（日）14:00-16:00 外国人発信者：東大 インドネシア留学生会 & 日本語教室参加外国人 参加者：116人（外国人56人 日本人60人）</p>
	<p><u>B. 外国人理解の促進と交流支援環境整備のための人材の発掘と育成</u></p> <p>■外国籍住民の急増により、文京区内でも小さな摩擦や不信感、不安な声なども聞こえる。これら課題を軽減すべく、外国人理解のための有識者からの話を聞くセミナーを企画実施した。この課題にかかわる行政担当者やボランティア、様々な立場の人間と一緒に課題を認識し、次につなげたいと考えた。</p> <p>■「日本語で交流」することを目的とした講座を実施。日本語ボランティアや、やさしい日本語活動に関心のある人材の発掘し、先々、教室の立ち上げや、交流支援の活動につなげて行くことを意図した。そのためのリソースを今年度、次年度にとつなぐことを試みた。</p> <p><u>1-1. プレ講座 「国内の日本語教育の今・これから」-共に暮らす地域の日本語学習支援に生かすために-</u> 講師：北村祐人氏（文部科学省総合教育政策局日本語教育課）受講者：42人</p> <p><u>1-2. 日本語ボランティアのための講座（連続3回講座）</u> 第一回：多文化共生について考える 講師 山西優二氏 受講者 25人 第二回：地域におけるに日本語を通じた活動を考える 講師：矢崎理恵氏 受講者 24人 考えてみよう私の地域活動 講師：新居みどり氏 第三回：やさしい日本語を学ぶ/これからの活動を考える 講師：新居みどり氏 受講者 24人</p> <p><u>1-3. 日本語教室開設にむけてのフォローアップミーティング& 日本語教室お試し会</u> 上記の連続講座のあと、活動を考える機会を継続実施 日本語を一緒に学ぶ場の創設につなげることを意図した。 フミコムとぶたねっとの協働</p> <p>実施頻度：2025年11月以降 月1-2回</p>

	<p><u>1-4. 日本語ボランティアフォローアップ勉強会</u> 講師：金子広幸氏 受講者：15人</p> <p><u>2.にほんご会話くらぶ</u> 不定期で、日本人ボランティアと外国人が日本語会話をする場づくり。テーマ例：外国人参加者の母国の食べ物を一緒に楽しむ、企業の方が日本の職場について話す等。2025年度は盆踊りをテーマに交流を楽しむ会を実施 実施日：2025年9月10日（水） 参加者 61人（外国人37人 日本人24人）</p> <p><u>3.日本語ボランティア体験</u> B-1の参加者等が実際にボランティア体験をする機会を提供。次年度以降の教室立ち上げへの繋ぎや準備に役立てる。 参加日：随時（複数回参加した方もあり）</p> <p><u>4.大学、団体、企業等との情報交換会</u> 本事業及び、今後の展開において、ぶんたねっとは「つなぎ役」としての役割が求められると感じている。事業に参加する個人とつながりと同時に、地域のリソースと繋がる必要があると考える。文社協・フミコムのアドバイスや既存ネットワークの紹介を受けながら、情報交換をし、事業の協働や、役割分担を共に考えていく場を社協・フミコムとともに持つことを年間通して心掛けた。 学生ボランティア団体、スピリットとの意見交換会を実施</p>
<p>事業に対する協働団体からのコメント (担当課からのコメント必須、他は自由記述)</p>	<p>*区（アカデミー推進課）…関係各位の尽力により、昨年度より多くのイベントを実施することができた。 今年度は交流イベントの参加者として日本人区民も広く募集したことで、区の課題である「国際理解や外国人との交流機会の創出」と更に整合した実施方法になったと考える。 今後も本事業で協働した各所と連携し、引き続き外国人を含む区民への国際交流機会提供等に努めていく。</p> <p>*大学（東京大学）…留学生は増加傾向にあるものの、本学に限らず留学生が特に地域で日本語を話す機会や参加できる教室が減っている。日本で就職を希望する学生も多く、企業人との交流はとても貴重な機会である。求める問合せは多く今後も、このような機会があることを願う。相互協力の関係を大切にしていきたい。</p> <p>*企業担当者…2年目も企業として場所を提供することで地域の活動に貢献できたことはとても嬉しい。ニーズが継続してあったことは嬉しい。交流している人たちが笑顔で帰っていた姿を見たことは企業として意義を実感できた。自社の社員に外国人との交流ボランティアに興味関心がある人がいると思わなかった。継続的なボランティア活動はなかなか呼かける事が難しかった。多くの社員が参加したことにより、今後の地域連携の可能性見出す機会となった。これからもSDGSに関わる企画と一緒に考えていかれたらと願う。</p>

<p>利用者からのコメント (アンケート結果など)</p>	<p>*外国人参加者…日本人の人と一緒に体験できたことが楽しかった。日本語をたくさん話せた。文京区にこのような活動があることを知らなかった。次もまた参加したい。案内してほしい。外国人同士の知り合いができた。参加している人がとてもやさしくてうれしかった。日本語を勉強したい、どこかあったら教えてほしい。日本の企業で働く人とたくさん話せて、日本社会のことが知れた。日本人の参加者の人たちが優しくとてもうれしかった。版画も太鼓も参加した。一緒にできるのがうれしかった。</p> <p>*日本人参加者…外国人の状況や課題を初めて知った周りで増えているなあと感じていたがこんなに多くなっていると知ってびっくりした。他人事と思ってしまいがちだが、気を付けて考えてみたい。一緒に交流できてとても楽しかった。イベントだけでなく話せることが楽しさを増した。今まで近寄り難く、よくわからなかったが、施設を開いてくれたことに感謝。同じ地域で行きかうのだから、もっと親しくなりたい。自分たち日本人もなにかイベントで役立てたらと思った。継続して交流の機会がほしい。参加したい人はもっと多いと思う。情報をもっと広く届けてほしい。</p> <p>*企業人ボランティア…日本語で外国人と交流できるということで参加ハードルが下がった。家族も一緒に参加できるボランティアで楽しい。自分の経験(社会人として)が役立ち、思ったよりずっと気軽に交流が楽しめた。外国人理解に役立った。自社内にも外国人の人がいるのでその理解にも良い機会だった。留学生が異国で頑張っている姿を見て、元気をもらった。これからも細々とも知り合った学生との関係を続けていきたい。</p>
<p>協働による効果</p>	<p>*行政との協働により、場所を安定して確保でき、当事者(外国人)や区民への情報提供が促進された。事業展開において早い時期から日程と場所を確保し、事業を潤滑に進めることの効果を大きかった。</p> <p>*区内の伝統文化継承者との協働は、日本文化を知るに留まらず、旅行者でない外国籍住民の地域理解として効果が高かった。</p> <p>*日本文化の紹介事業は、今まで地域住民には多数提供してきたが、外国の人たち(住んでいる)との接点は初めて。自分たちにも地域でできることの新しい可能性を知る機会となった。太鼓は場所の選定が難しいので、今回はとても良い機会だった。</p> <p>*社会福祉協議会がかねてから持っていた区内企業ネットワークにより区内企業複数と協働することで、B-NICEプログラム(企業人ボランティアと留学生との交流)が拡大できた。</p> <p>*事業の当日と一緒に運営に従事することや、外国人が「日本語で話す」ことの実践する場(日本語教室)を見学・体験してもらうことで、協働団体の担当者(区・社協・企業)の方々に本課題についてよりよく知ってもらう機会となったと実感している。交流と支援とのつながり、相互があったからこそということの理解をもっと深められたらと思う点が残念。</p>

<p>成果目標の達成度 (スタートアップ会議・中間報告会を通じて設定した目標について結果はどうだったか、そう判断した根拠を記載してください)</p>	<p>日本語コミュニケーション、相互理解を主眼においた、複数の交流事業では多くの外国籍住民の参加を得て、地域に根付いた交流活動ニーズを再確認。人材養成と課題理解のための講座では、日本語サポート活動の今後の可能性の芽が見えた。出会い、ともに楽しむ場を、継続性のあるものにつなげる仕掛けに成果をあげることができた。</p> <p>Aの事業について</p> <p>* 日本文化文化を知る&日本語交流事業・・・1①、②、2の各事業とも多数の参加者を得て、外国人が集うきっかけ、日本人住民と知り合う場所として評価できるものであったと考える。各事業ともに「日本語で交流する事」を前面に出し、単なる単発の交流イベントでなく、地域で日本語で暮らすことの導きにもつながった。</p> <p>* 企業人ボランティアの参加により実現した日本語交流は、Bチャレとしての2年目も一定の申込があった。しかし、留学生からのニーズはさらに高く、希望者全員に企業人とのペアを作れなかった点は残念であった。企業担当者からは、「企業の社会貢献プログラムとして継続性のある活動は貴重であり、社員の参加希望度が高いことは新たな発見だったという」高評価を受けた。定住性が高い外国人の支援・交流相手として同じ地域での若手・中年層の企業人との可能性を再確認できた。</p> <p>* 4の外国人自身が発信する事業は今年度の試みとして多くの参加者を得て、また発表者自身も貢献した充実感が高く、達成度の高い事業となった。</p> <p>Bの事業について</p> <p>* 区内外国人の急増により課題が浮き彫りになってきている地縁組織や教育現場からの参加者も得て、一緒に考える機会となった。</p> <p>* 「日本語」交流のための講座は、継続的な活動へのつながりを作ることを意図した。その後のフォローの会について社協の強力なサポートで今後、何かしらの形となっていくことを期待しつつ、見守っていきたい。</p> <p>* 都内外で顕著な活動をし、各地域の先導役となっている講師との関係性を作ることができ、次年度以降に本格的に仕掛けていく「人材育成、場所づくり」につながるネットワークを築くことができたことも今年度の成果であった。</p> <p>* 日本語を学び、暮らしやすさ高める機会の必要性が高いこと、区内の喫緊の課題であることは文京の日本人住民からの外国籍住民からも既知の事実であるが、行政としての継続的な日本語学習・支援の事業としての位置づけに繋がらなかったことはとても残念であり、今後、ニーズがさらに高まることが予想されるので、大きな懸念として残った。</p>
<p>今後の活動予定 (Bチャレでの成果を踏まえて、今後はどう展開されるのかを記載してください)</p>	<p>2024年度、2025年度の2年間は、ぶんたねっとの持つ馬力以上の事業展開となった。これによりネットワークの拡大ができ、事業の必要性は確認できた。今後、①多様なリソースを繋ぎ、日本語交流、地域相互理解の機会を作る、②持続的な日本語支援活動ためのリソース発掘・育成の2点について、自分たち自身でできることは限られるものの、できる範囲のことを着実に継続していきたい。</p> <p>特に、Bの事業について、次年度は、社会福祉協議会の主催事業としていちづけてくださる展開を、ぶんたねっととして過去の経験とノウハウを共有し、協力関係を保っていきたい。</p>

別紙1：事業スケジュール(報告版)

別紙2：収支報告書

別紙3：関係者マップ

※追加別添1：この事業を通じて制作したチラシなどのデータ

※追加別添2：この事業の様子が分かる公開可能な写真データ（10枚以内）

※追加別添3：この事業にかかった費用の根拠資料の原本（領収書や支払い明細書など）

別紙1：事業スケジュール(報告版)

団体名：ぶんきょう多文化ねっと(ぶんたねっと)

実施内容 / 月				4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
		幹事ミーティング	日程	場所	4/4 4/16		6/16	7/5	8/5	9/3	10/10	11/5	12/9	1/17	2/21	●	
A. 在住・在学外国人との 日本語交流・連携	1	日本文化を知る&日本語交流会 ① (江戸木版画・うちわ作り)	7/13(日) 14:00-16:00	区民センター 3A	4/24 講師打合せ			7/13									
		日本文化を知る&日本語交流会 ② (和太鼓体験・交流)	1/26(月) 18:30-20:00	アカデミー文京 多目的室										1/26			
	2	年末交流会-にほんご交流 (Year End Party)	12/13(土) 15:00-17:00	区民センター 3A									12/13				
	3	B-NICEプログラム 企業社会人&留学生交流会 (区内企業と連携 共催：東大留学生支援室)	5/27 顔合わせ	5/27シビックセンター 内会議室 11/16 交流会	募集開始	5/12締切 5/13説明会 5/27 顔合わせ	ZOOM追加顔合わせ 交流フォロー					11/16 全体交流会					
4	にほんご交流-話す・聞く・知る- 外国人の話・母国紹介&日本語交流イベント	11/16(日) 14:00-16:00	アカデミー文京 レクリエーションホール								登壇者 確定	11/16					
B. 外国人理解の促進と 交流支援環境 整備のための 人材発掘・育成	1	国内の日本語教育の今・これから (日本語教育・支援を理解するためのプレ講座) (連続講座 3回)	9/30(火) 14:00-16:00	アカデミー文京 学習室	4/24 講師打合せ				9/30								
		「日本語」交流のための講座 (日本語ボランティアに関心のある人のための講座) (連続講座 3回)	10/14・10/28・ 11/11 (火) 10:00-12:00	アカデミー文京 学習室	4/24 講師打合せ				8/25区報	9/16 講師打合せ	10/14. 10/28	11/11					
		日本語教室開設に向けてのフォローアップ	10/9(水) 10:00-12:00	シビックセンター5階C 会議室								11/25	12/9	1/13 1/27	2/10お試 し会 2/24		
	日本語ボランティアフォローアップ講座 日本語教室に来る人-こんな人・あんな人・ どんな人?]	2/3(火) 10:00-12:00	区民センター会議室												2/3		
	2	にほんご会話くらぶ Part1 盆踊り交流会 (9月)	9/12(金) 18:30-20:30	区民センター 3A						9/12							
		日本語教室でのボランティア体験	11月以降 随時										随時 既存の日本語教室体験見学受入れ				
3	外国人支援・やさしい日本語活動等に関心のある 大学・団体・企業等との情報交換会 (2回程度)						7/8 Spiritミー ティング										
	フミコム/関係課との会議				4/16 対面			7/16 Zoom				11/5 対面		1/27 対面		3/17 対面	

別紙2：収支報告書

団体名：ぶんきょう多文化ねっと

収入 922,624 円

費目	予算額	積算根拠
「Bチャレ」助成金	922,000 円	
団体補填分	624	
	円	

支出 922,624 円

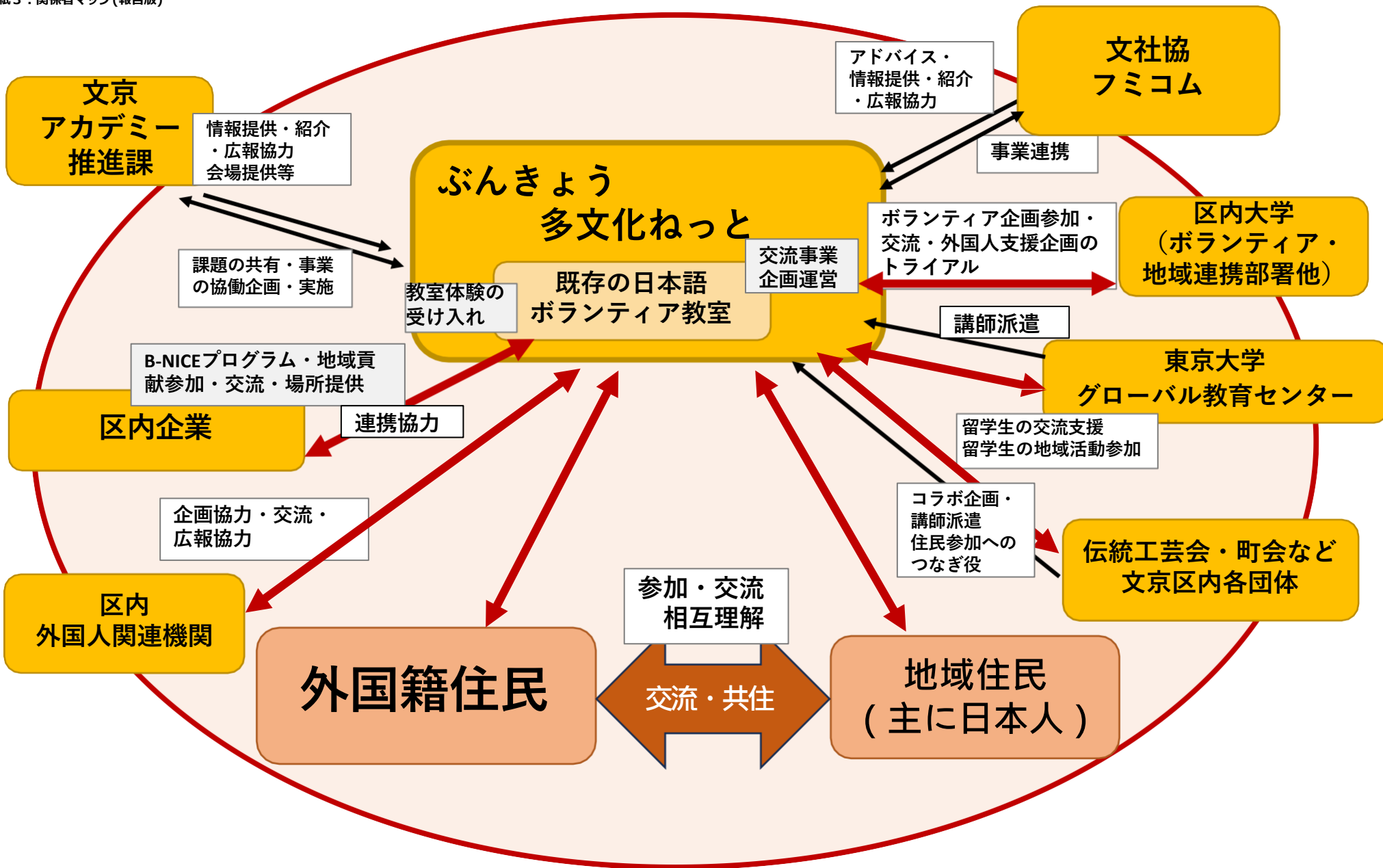
費目	予算額	積算根拠
講師謝礼	238,000 円	A-1 日本文化を知る&日本語交流会①(木版画うちわ) 60,000 @30,000×2人×1回 A-1 日本文化を知る&日本語交流会②(和太鼓) 50,000 @50,000×1回 B-1日本語ボランティアのための講座講師 125,000 @25,000×5人(山西・矢崎・新居・新居・金子) B-2 にほんご会話くらぶ アドバイス謝金 3,000 @3,000×1
コーディネーター謝金	145,000 円	A-1 木版画うちわ交流会(7/13) 企画コーディネーター 20,000 @5,000×4人 A-1 和太鼓交流会(1/26) 企画コーディネーター 25,000 @5,000×5人 A-2日本語交流年末交流会(12/13) 全体コーディネーター 25,000 @5,000×5人 A-3 B-NICE 企業留学生交流事業総合コーディネーター 30,000 @30,000×1人 A-4 外国人の話&交流会(11/16)全体コーディネーター 25,000 @5,000×5人 B-2 にほんご会話くらぶ 事業コーディネーター 20,000 @5,000×4人
発表・文化紹介協力者謝金	48,160 円	A-2日本語交流年末交流会(12/13) 14,160 日本文化紹介 Quoカード4人分 4,160, @5000×2 A-4 外国人の話&交流会(11/16) 34,000 インドネシア留学生会 20,000 発表者@2,000×7

会場費	0 円	それぞれの事業の会場について 区の共催協力により無料で使用させていただいたため支出なし
文化体験代補助	120,000 円	A-1 日本文化を知る&日本語交流会①(木版画うちわ) @2,000×40人(外国人25・日本人15) A-1 日本文化を知る&日本語交流会②(和太鼓交流) @1,000×40人(外国人32・日本人8)
交流会茶菓代	37,153 円	A-1 日本語交流 和太鼓交流会(1/26) 14,504 A-2日本語交流年末交流会(12/13) 8,481 A-4 外国人の話&交流会(11/16) 飲料水4ケース 14,168
会議消耗品代	34,974 円	会議用 Zoom使用料 2025年度年間 23,375 B-2 にほんご会話くらぶ(9/12) 菓子・飲み物 11,599
行事保険	3,376 円	A-1 日本文化を知る&日本語交流会①(木版画うちわ) 40人 1,523 A-1 日本文化を知る&日本語交流会②(和太鼓交流) 50人 1,853
消耗品代	55,092 円	事業実施用の文具、消耗品、コピー用紙、ファイル等
郵送・運搬費	6,790 円	資料発送 宅急便発送など
書籍費	2,079 円	日本語、交流関連書籍 日本語教室活動の書籍の置き場所の課題が残り、次年度の教室開設にむけた新規購入を見合わせたため 支出残が出た
印刷費	16,000 円	9/30 文部科学省日本語担当者のセミナー時の資料印刷のため (16枚両面カラー印刷 50部の資料作成)
事務謝金	75,000 円	庶務・準備事務に係る謝金 年間事業企画運営 事務謝金 40,000 @8,000×5人 B-1 日本語ボラ教室立ち上げフォロー事務 25,000 @5,000×5人
スタッフ交通費	98,000 円	1人@1,000 98人(通算) 分 明細別紙参照
返金	43,000 円	

★執行残額発生の主たる理由

- ①区保有施設における会議・交流会等で飲食提供禁止のため 茶菓の提供を見合わせたり方法変更した。
- ②日本語支援環境整備を 次年度以降に変更したため、書籍費の発生が少額だった。

別紙3：関係者マップ(報告版)



B-NICE

プログラム

東大留学生と日本語で交流しませんか？

B-NICE (Bunkyo Nihongo & Culture Exchange) プログラムは、留学生と企業で働く社会人ボランティア(以下、企業人ボランティア)が1対1で交流し、相互理解を深めるための日本語交流プログラムです。

留学生が学外で日本人市民と知りあう機会は限られ、多くの留学生が日本人と交流したい、日本語が話したい！という希望を持っています。留学生の中には、卒業後、日本で就職を希望する学生も多く、企業で働く方と話してみたいという希望も多く聞かれます。

身近な地域交流として、留学生と知り合いになってみませんか？

*日本語を教えたり、語学交換したりするプログラムではありません。

対象： 企業で働いていて、一週間1回程度の留学生との交流に関心のある方

交流期間： 2025年5月末～2025年12月

交流方法： 仕事後の時間帯に対面での交流を中心として、
双方の都合に合わせて、リモート交流も併用して自由に交流。

定員： 15名

申込方法： 右記のフォームから申し込みください

申込締切： 5月12日(月)

スケジュール： 4月初旬 申込受付開始 5月中旬までに参加の可否をご連絡します。
5/27(火)18:30～ 留学生との顔合わせ会 (文京シビックセンター内)
2025年11月頃 全体交流会(予定)

問合せ： ぶんきょう多文化ねっと info.buntanet@gmail.com

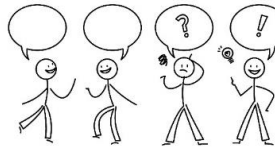
文京区社会福祉協議会 地域連携ステーション フミコム03-3812-3044



Googleフォーム

Q: 交流相手は？

A: 東大に在籍の留学生です。大学生が多く、東アジア出身者が大多数です。日本語力は多様ですが、本プログラムは日本語でコミュニケーションの取れる学生が参加しています。



Q: どんなこと話せばいいの？

A: 日常生活のこと、仕事のこと、働き方について、お互いの趣味、食べ物、旅行…どんな話題も学生は興味あります。また留学生の母国の文化や名物にも、ぜひ触れてみてはいかがでしょうか？

Q: どんなペースで？どこで？

A: 頻度、交流の形、場所など、お二人で相談し、都合のよいスタイルで交流をお願いします。無理ない形で気軽に交流が一番です。

Q: 英語が話せないですが…

A: 日本語を話すことを学生は願っています。英語力は必要ありません。

Q: カフェや食事代などどうしたら？

A: お互いが負担感なく交流することが継続の秘訣です。最初に「割り勘」にしようね等、話し合っていたく事も、これから社会にでる学生たちへのよい経験になることでしょ。

BuntaNet にほんご交流 Nihongo Communication

え ども く は ん が
江戸木版画

うちわづくり

Woodblock Prints workshop

2025.7月13日 14:00-16:00

日本語ボランティアの方々と一緒に日本語交流・日本文化を楽しむイベントです。
伝統的な江戸木版画の刷りを体験してみませんか？

木版画でうちわづくりを体験します

講師：高橋工房 高橋由貴子氏

場所：文京区民センター3階 3A会議室（文京区本郷4-15-14）

参加費：500円（材料費込み）

定員：30名（定員オーバーの場合は抽選後連絡します）

締切：6月12日（木）

問合せ：info.buntanet@gmail.com

This is an event to enjoy Japanese language exchange with Japanese volunteers.

Experience traditional Edo woodblock printing!

Making uchiwa (Japanese fan) with woodblock prints

Place: Bunkyo Kumin Center (4-15-14, Hongo, Bunkyo city)

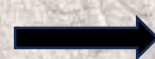
Fee: ¥500 (Incl. material costs)

Capacity: 30 persons (Lottery for oversubscribed cases)

Apply: <https://forms.gle/X44oqwrQFSX3pyfq8>

Dead line: June 12 (Thu)

申込 Application :



地図 Map:



参加無料
Free

にほんご会話くらぶ Nihongo Conversation Club

2025. **9.12** Fri 18:30-20:30

盆おどり-Bonodori-Workshop



-にほんご会話くらぶ-Nihongo Conversation Club

外国籍の方々と日本語が母語のボランティアが、日本語で会話・交流をする会です。
Club for enjoying Japanese conversation between foreign residents and native Japanese speaker
Part1: 盆おどりを体験しましょう/Enjoy Bonodori
Part2: 日本語で会話・交流をたのしみましょう。/Nihongo Conversation

場所: **文京区民センター3階 3A会議室** (文京区本郷4-15-14)
締切: 9月10日 (水)
Place: **Bunkyo Kumin Center 3F Room 3A**
Dead line: Sep.10(Wed)
Info: info.buntanet@gmail.com

申込Application:



地図Map:



主催: ぶんきょう多文化ねっと 共催: 文京区 助成: 文京区社会福祉協議会「Bチャレ」 協力: 文京区内盆踊りマイスターの方々

「日本語」交流 のための講座

参加費
無料

「日本語で交流・サポート」をテーマに、日本語交流員として、地域活動を希望する方のための講座を実施します。

共通言語は「にほんご」！ お互いに理解し、支えあうポイント、コミュニケーション方法を学んでみませんか。

「日本語交流員」とは？

地域に住む隣人として、日本語学習を中心に、日常生活面でも支援活動を行う市民ボランティアです。先生・生徒という関係ではなく、日本語を通して交流をしながら、異文化を背景にもつ者が、相互に理解・協力していきたいと考えています。この活動が、お互いの国の文化を紹介したり、日常生活や習慣のちいさなサポートをしたりという様々な地域活動へと発展していくことを期待しています。

日時 2025年 **10/14・10/28・11/11** 全3回 (火) 10:00-12:00

場所 アカデミー文京 レクリエーションホール
(文京区春日1-16-21 文京シビックセンター-B1階)

参加費 1,000円 (全3回)

定員 40人 (申込順)

対象 次の条件をすべて満たす方
①区民による「日本語」を通じた地域活動に興味がある。
②全3回の講座を受講できる

内容 第1階 10/14 ◆多文化共生について考える 山西優二氏(早稲田大学名誉教授)

第2階 10/28 ◆地域における日本語を通じた活動を考える 矢崎理恵氏(さぼると21コーディネーター)
◆考えてみよう 私の地域活動 新居みどり氏(CIINGA コーディネーター)

第3階 11/11 ◆「やさしい日本語」を学ぶ 新居みどり氏(CIINGA コーディネーター)
◆これからの活動を考える

申込 9月19日 (金)

申込 はこちらから

【問い合わせ】 info.buntanet@gmail.com

主催： ぶんきょう多文化ネット 共催： 文京区

助成： 文京区社会福祉協議会「Bチャレ」





にほんご交流

はなす 話す ・ 聞く ・ 知る

2025. **11月16日**(日) 14:00-16:00

アカデミー文京 レクリエーションホール
(文京シビックセンターB1階)

アングクルンに聞こうよ。

日本に暮らす外国人の私生活を紹介しよう。



スペシャルゲスト
アングクルン 演奏
Angklung ensemble
在日インドネシア留学生協会東京大学支部
PPI Today

ぶんきょうで暮らし・学ぶ外国人の方々が、日本での経験や母国文化を紹介します。

- * 日本語を話したい！ 知り合いたいと思う人大歓迎！
- * ご家族やお友達も一緒にどうぞ！

Free 無料



にほんごで話そう
Nihongo Time

- 外国の方々のスピーチ
 - B-NICE*参加者のプレゼンテーション
 - 日本語教室ってこんなところー紹介
- * 留学生と企業人ボランティアの日本語交流プログラム



Know culture/life



Meet people



Talk Japanese

地図 Map:



申込Application :



日本文化・日本語交流をいっしょに楽しみましょう。

参加無料
Free

ねんまつ

こうりゅうかい

年末交流会

Year End Gathering

2025.12月13日(土) 15:00-17:00

日本語ボランティアの方々と外国人の方々との交流会！
日本語を話したい！ 知り合いたいと思う人大歓迎！
日本語ボランティアに関心のある方も、まず交流を楽しんでみてはいかがでしょうか？
ご家族やお友達も一緒にどうぞ！

場所： 文京区民センター3階 3A会議室 (文京区本郷4-15-14)

受付： 14:45-

参加費： 無料

定員： 60名 (定員になり次第締め切り)

問合せ： info.buntanet@gmail.com

申込Application :



This is an event to enjoy Japanese language exchange with Japanese volunteers. Want to speak Japanese! All those who want to get to know each other are welcome! Join us with your family and friends!
Venue: **Bunkyo Kumin Center 3F Room 3A**
Reception: 14:45-
fee: Free
Capacity: 60 people (Accepted up to capacity)
Apply: <https://forms.gle/sR2rqqb6VUqvtJwR6>
Inquiry: info.buntanet@gmail.com

地図Map



BuntaNet にほんご交流 Nihongo Communication



主催：ぶんきょう多文化ねっと 共催：文京区 助成：文京区社会福祉協議会「Bチャレ」 <https://buntanet.jimdofree.com/>



BuntaNet にほんご交流 Nihongo Communication

わ だ い こ

和太鼓を楽しもう

**Wadaiko (Japanese Taiko Drums)
workshop**

2026.1月26日 18:30-20:00

日本語ボランティアの方々と一緒に日本語交流・日本文化を楽しむイベントです。
和太鼓のパフォーマンス・音・響き・振動・を目の前で感じてみませんか。
自分でたいてみる体験もできます。和太鼓が活躍する盆踊りも楽しめます。

協力： 助六太鼓 (文京区水道) <http://www.sukeroku-daiko.com/>
場所： 文京シビックホール 多目的室 (文京シビックセンター B1階 文京区春日 1-16-21)
参加費： 無料
定員： 40名 (定員オーバーの場合は抽選後連絡します)
締切： 2026年1月15日(木)
問合せ： info.buntanet@gmail.com



This is an event to enjoy Japanese language exchange with Japanese volunteers.
Experience Wadaiko (traditional Japanese Taiko Drums) Workshop!
Experience the performance, sound, resonance, and vibration of Japanese taiko drums right before your eyes. You can even try playing them yourself.
Enjoy the Bon dance where Japanese taiko drums take center stage.

Place: Bunkyo Civic Hall Multipurpose Room, Bunkyo Civic Center B1
(1-16-21 Kasuga Bunkyo-ku)

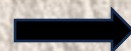
Fee: Free

Capacity: 40 persons (Lottery for oversubscribed cases)

Dead line: Jan.15,2026 (Thu)



申込 Application :



地図 Map:







江戸木版画
東京都伝産協

東京都伝産協
江戸木版画

CROWN
TECH

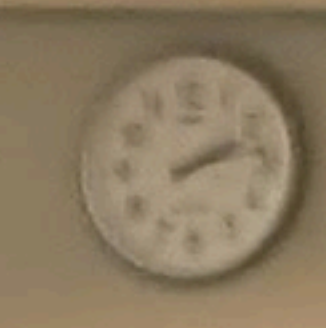






ウルトラマン (1966)
宇宙人の視点
宇宙空間を舞臺とする
同様に

ロアロア
スピーク
蘇我
エトコトの
アノコト
アノコト
アノコト



日本語がつかないでくれた 新しい道

- リュウ ショウレイ (中国)
- 2025/11/16





紙張類

紙張類

紙張類

紙張類



